

## マイナビ進学会員

### 「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」報告書

マイナビ進学総合研究所は、2023年3月卒業の高校生に対し「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」を実施いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

#### 【調査概要】

- 調査名：高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査（2023年3月）
- 調査方法：メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間：2023年3月27日～2023年4月3日
- 調査対象者：2023年3月に卒業予定の高校3年生（マイナビ進学会員登録者）
- 有効回答者数：3,200名（WEB調査）  
（進路決定先…大学：2,251名／短期大学：98名／専門学校：433名／  
その他：418名）

#### 調査結果トピックス

##### ・志望校選びの際「重視するポイント」は、「学べる内容」

大学・専門学校への進学者は「学べる内容」が、短期大学への進学者は「取れる資格」が前年同様トップ項目に。

##### ・進学する学校への資料請求時期は「3年生4～6月」、来校・出願決定時期は「3年生7～9月」が最多割合

進学する学校区分（大学、短期大学、専門学校）を問わず上記時期での行動が最多割合であった。昨年と比べて資料請求時期については高校2年生4月～12月の時期に微増傾向にあるか。

##### ・「3年生7～9月」の「来校」が進学先を決める大きな要因が

進学先の学校とそれ以外の検討校との間で、来校の有無に大きな違いが見られたのが「3年生7～9月」。

##### ・オープンキャンパス、体験入学の参加割合が前年より増加。

今年は感染症緩和の影響か、「参加していない」の回答割合が減少し、参加割合が増えてきている。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 教育支援統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

## INDEX

### **1 学校選びについて…… P 3**

- ・志望校選びの際「重視するポイント」
- ・「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容
- ・学校選びの際の候補校数と受験した学校数(平均)

### **2 進学先の学校について…… P 5**

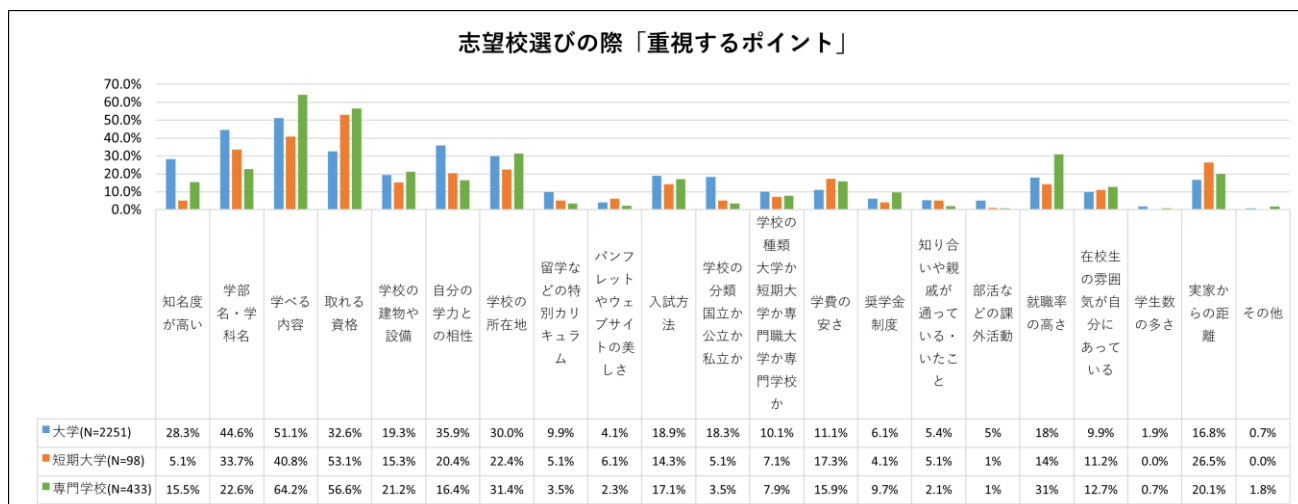
- ・その学校を進学先として選んだ理由
- ・学部学科選びの理由
- ・進学先の学部・学科系統／分野系統
- ・進学する学校を知った時期（月別/累計）
- ・進学する学校へ資料請求をした時期
- ・進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期
- ・進学する学校へ出願を決めた時期（月別/累計）
- ・高校卒業後、進学する際の住まいについて

### **3 進学先以外の進学候補学校について…… P 10**

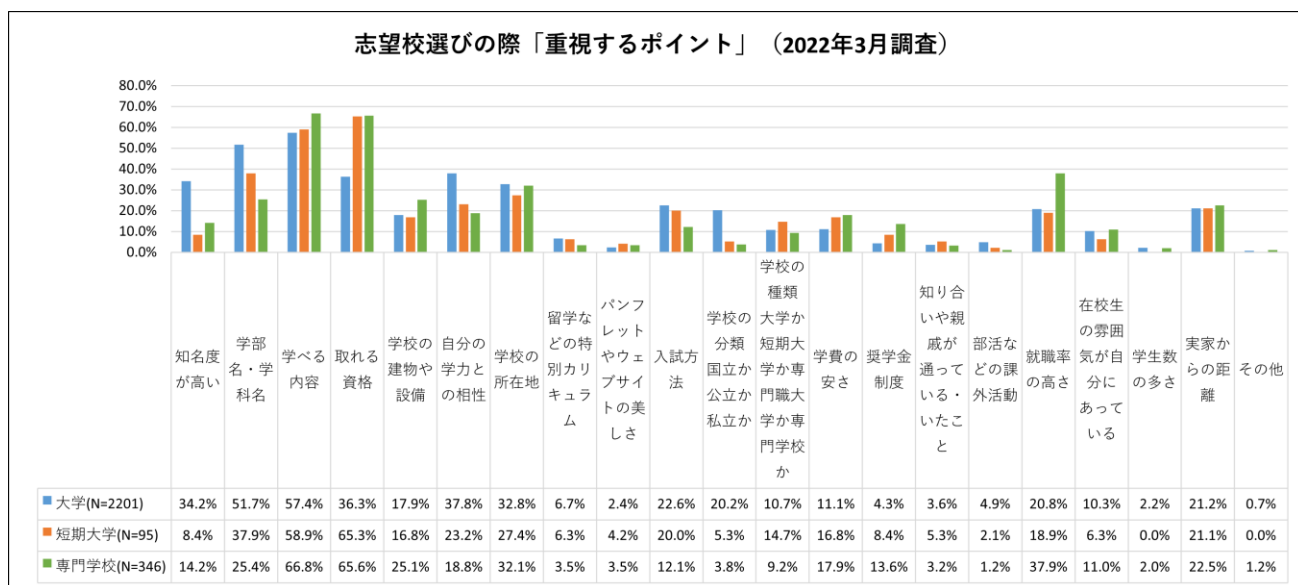
- ・学校のことを知った時期（初期認知）
- ・学校へ資料請求をした時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへの参加時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合
- ・出願を決定した時期
- ・合格したが入学しなかった理由について

## 1 学校選びについて

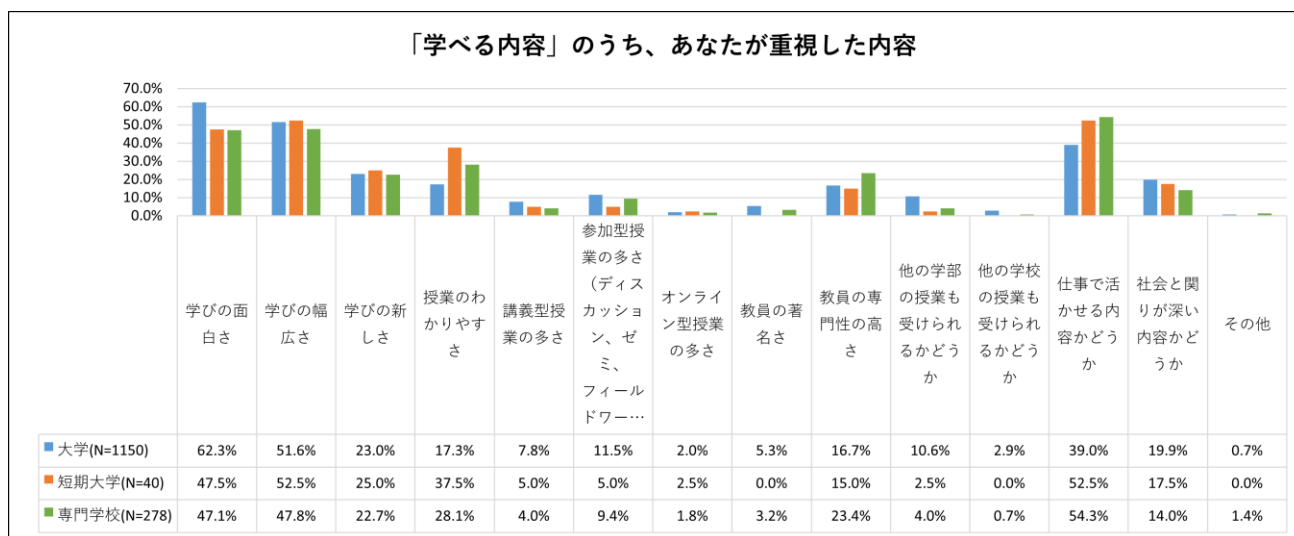
志望校選びの際「重視するポイント」について聞くと、大学・専門学校では「学べる内容」(大学 51.1%、専門学校 64.2%)が前年同様トップとなった。短期大学では前年同様「取れる資格」(53.1%)がトップの項目となった。



▼下記、2022年3月調査資料より掲載

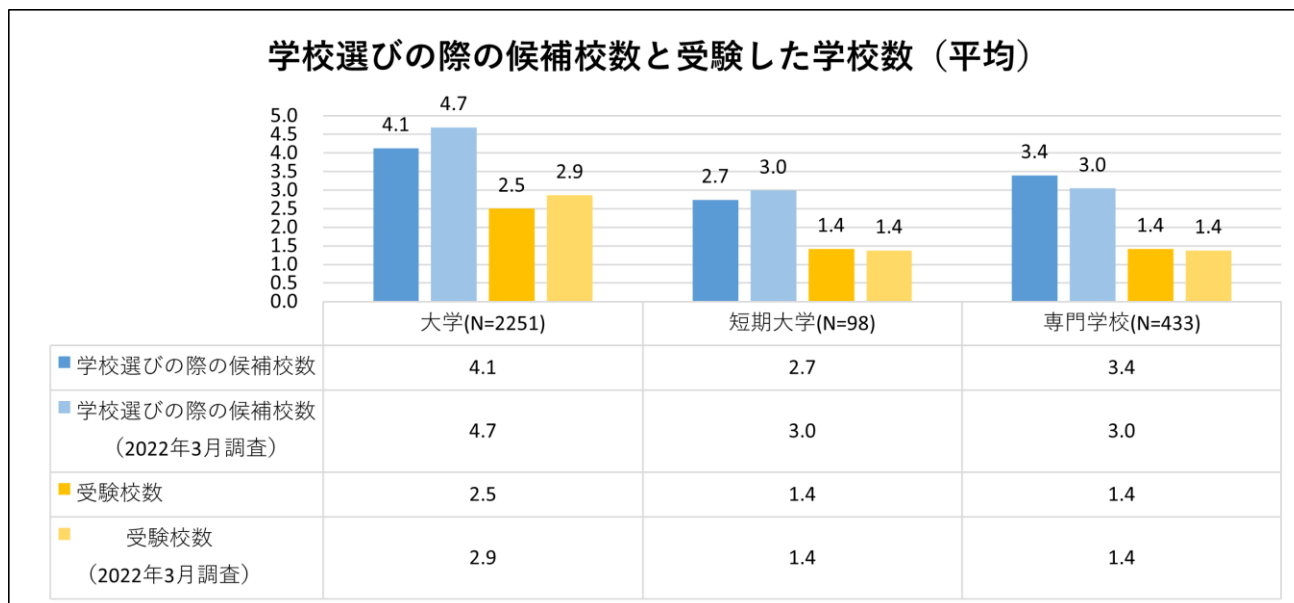


大学、専門学校で最も回答割合が高かった「学べる内容」について深掘りしていくと、大学では「学びの面白さ」「学びの幅広さ」、専門学校では「仕事で活かせる内容かどうか」が重要視されている。



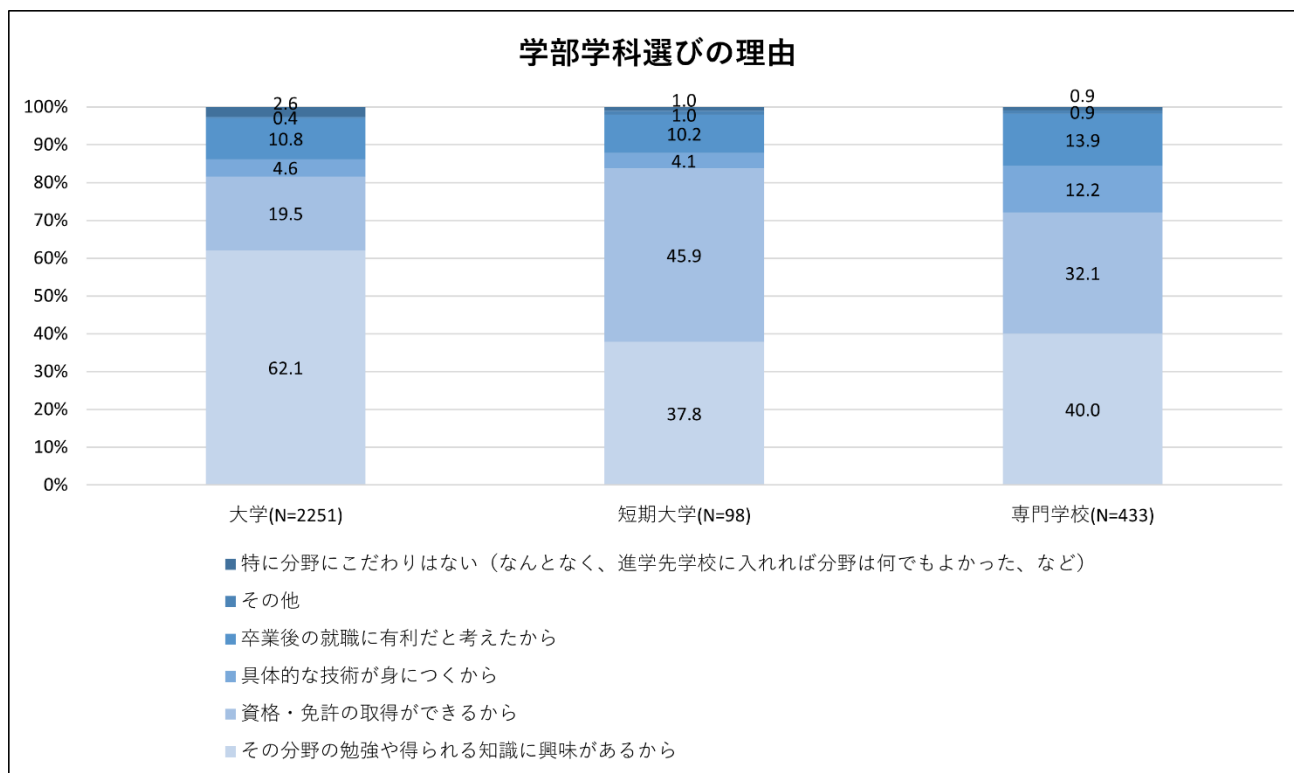
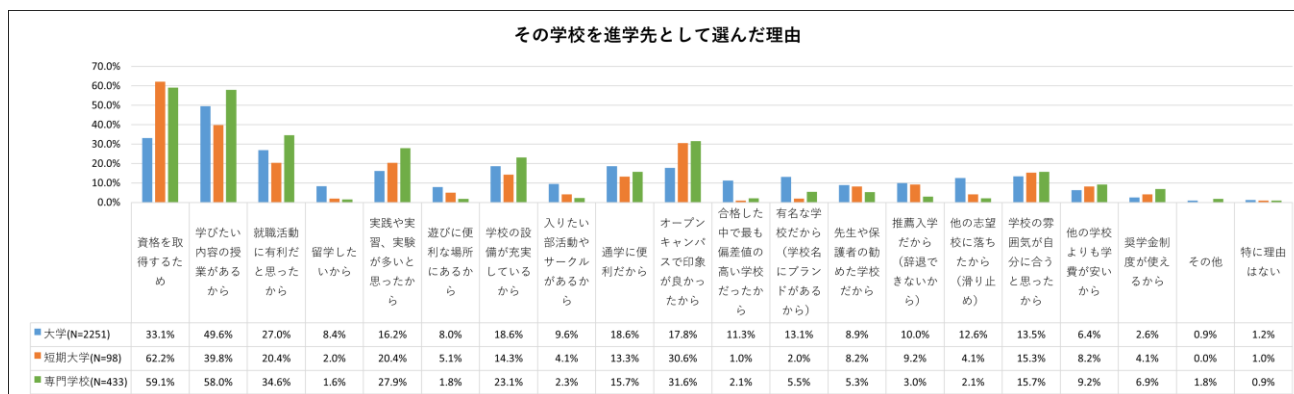
※志望校選びの際「重要するポイント」で「学びの内容」を選択した人のみに回答してもらった。

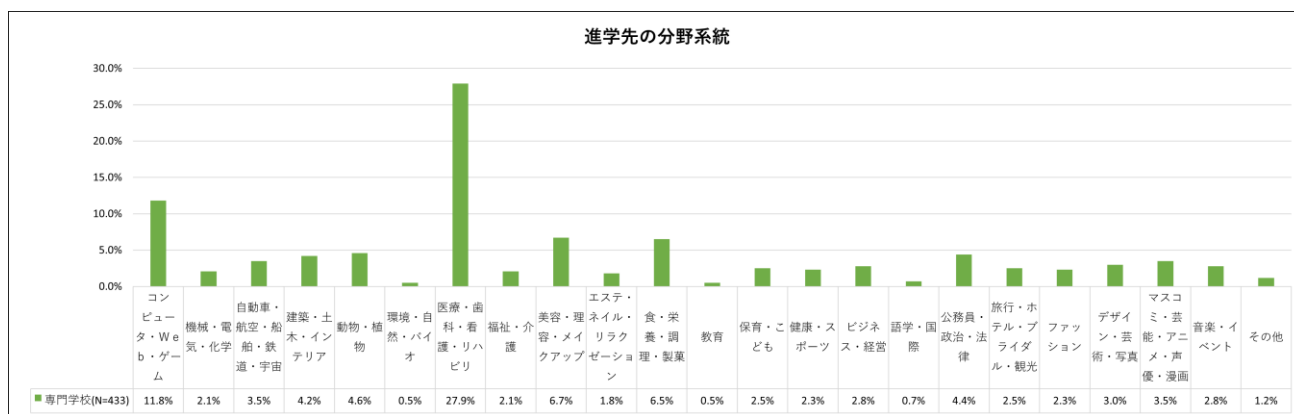
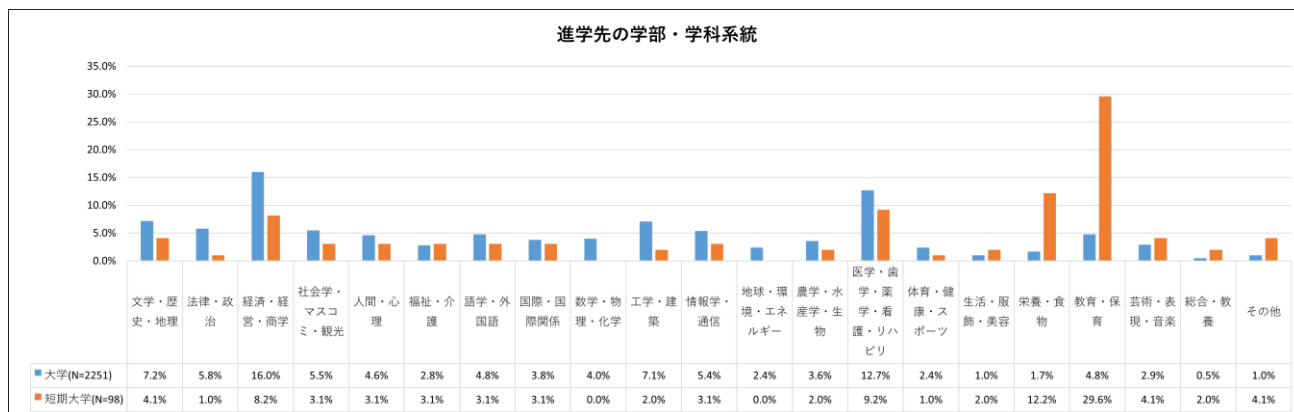
また、学校選びの際の候補校数と受験した学校数の平均を算出すると、大学では約 4.1 校の候補から約 2.5 校を受験し、短期大学では約 2.7 校の候補から約 1.4 校を受験、専門学校では約 3.4 校の候補から約 1.4 校を受験という結果となった。また、学校数は前年と今年とで大きな差異は見られなかった。



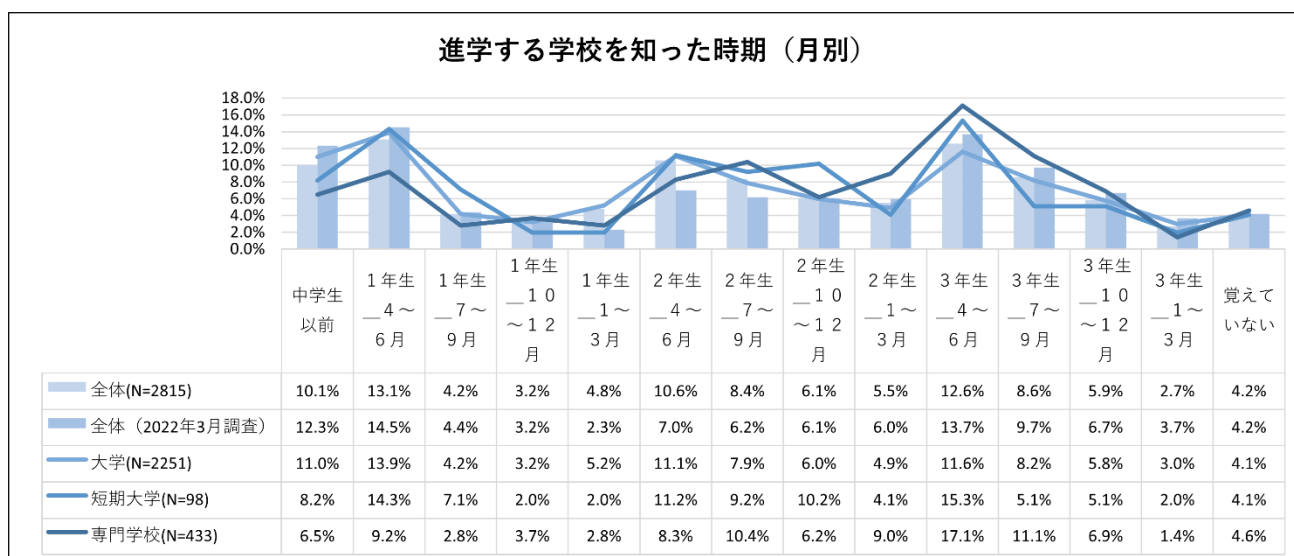
## 2 進学先の学校について

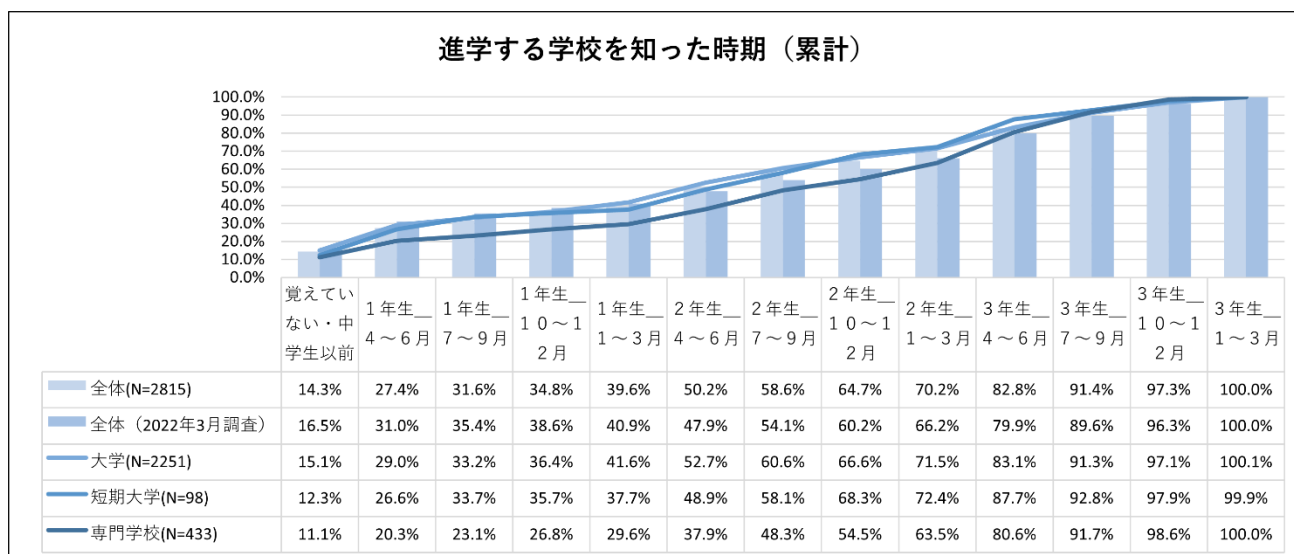
進学先としてその学校を選んだ理由を聞くと、「学びたい内容の授業があるから」「資格を取得するため」といった、志望校選びの際「重視するポイント」と似た項目が前年同様、上位に並んだ。学部学科選びにおいても、同様に「その分野の勉強や得られる知識に興味があるから」「資格・免許の取得ができるから」の回答が多くを占めた。





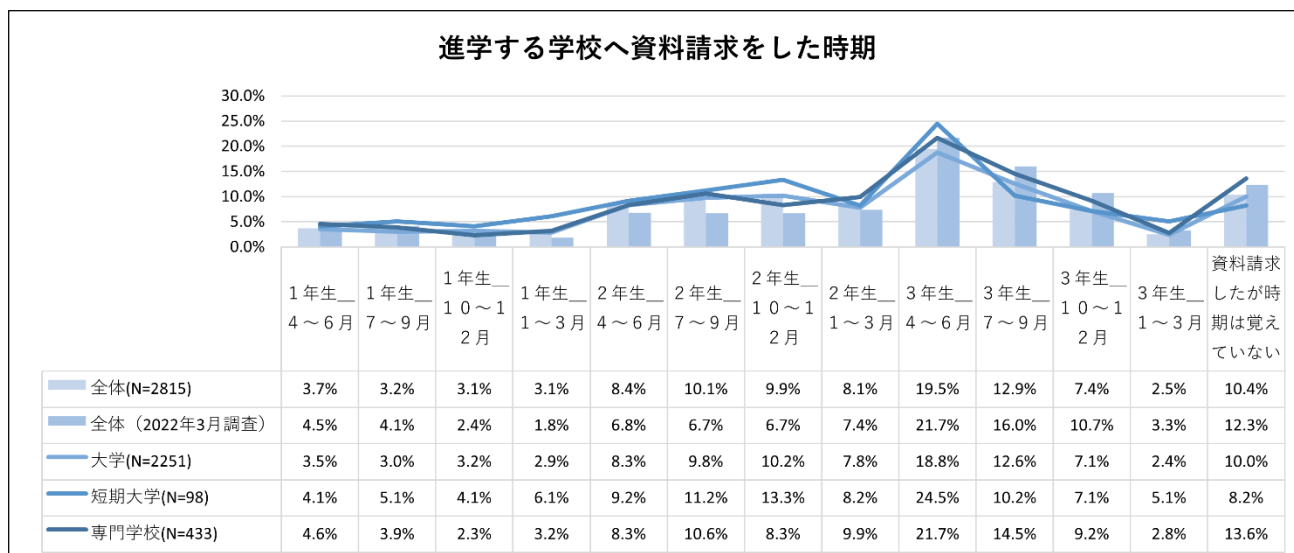
次に、進学先として選んだ学校に対する「認知時期・資料請求時期・イベント参加時期・出願時期」を調査した。初期認知が最も多かった時期は、大学は「1年生 4～6月」(13.9%)、短期大学・専門学校は「3年生 4～6月」(短期大学 15.3%、専門学校 17.1%)となり、前年同様に大学と短期大学・専門学校とで両極端な結果が得られた。尚、全時期を通じたグラフの波形は前年と概ね変わらない。認知累計においては前年と比較して今年のほうがやや早い傾向が見られた。



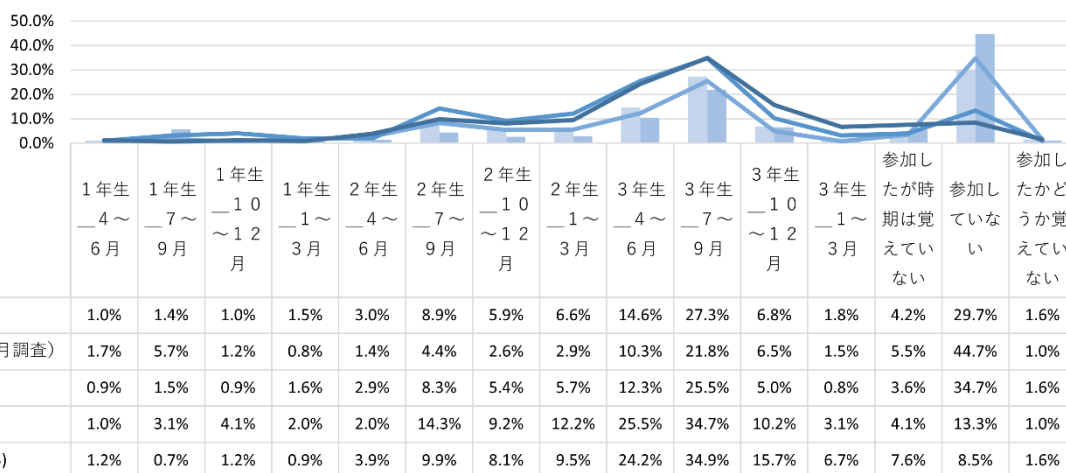


進学する学校へ資料請求をした時期については、3年生 4～6月(全体 19.5%)が最も高い割合となった。前年と比較すると概ね大きな違いは見られないが、2年生 4～12月の時期が微増傾向にある。

オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期については、学校区分を問わず3年生 7～9月(全体 27.3%)が最も高い割合となった。「参加していない」割合について見てみると、前年は44.7%であるのに対し、今年は感染症緩和の影響か29.7%と減少しており、参加割合が増えてきていることがわかる。

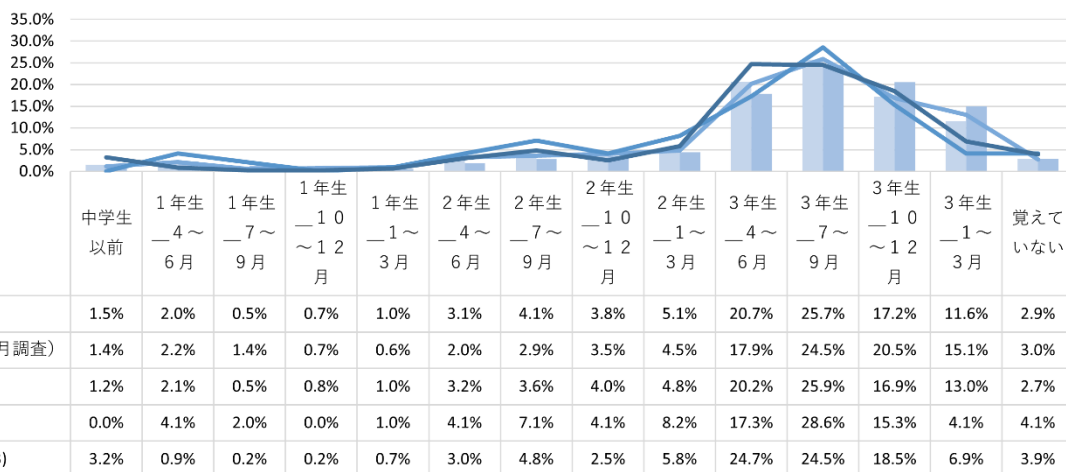


進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期

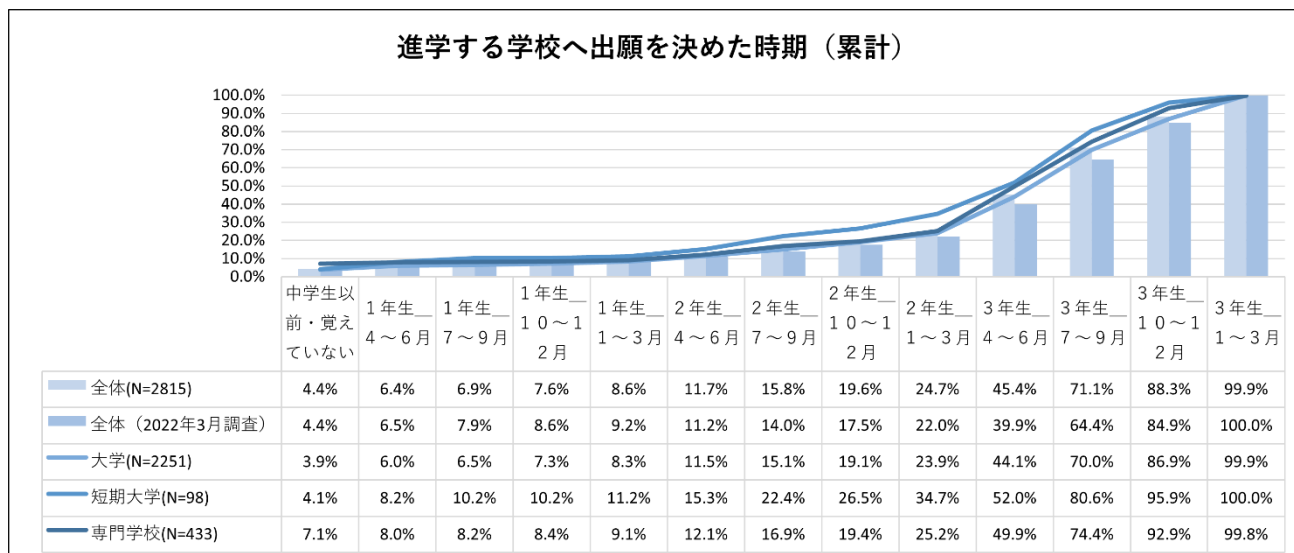


進学する学校へ出願を決めた時期については、3年生7～9月(全体 25.7%) が前年同様に最も高い割合となった。同時期の学校区分別の累計出願決定率は大学 70.0%、短期大学 80.6%、専門学校 74.4%。今年は短期大学、専門学校、大学の順に出願校決定が早い傾向にあることがわかる。（前年は専門学校、短期大学、大学の順）また、3年生4月～9月の時期において前年より微増しており、今年はやや早い段階で出願校を決定した様子が伺える。

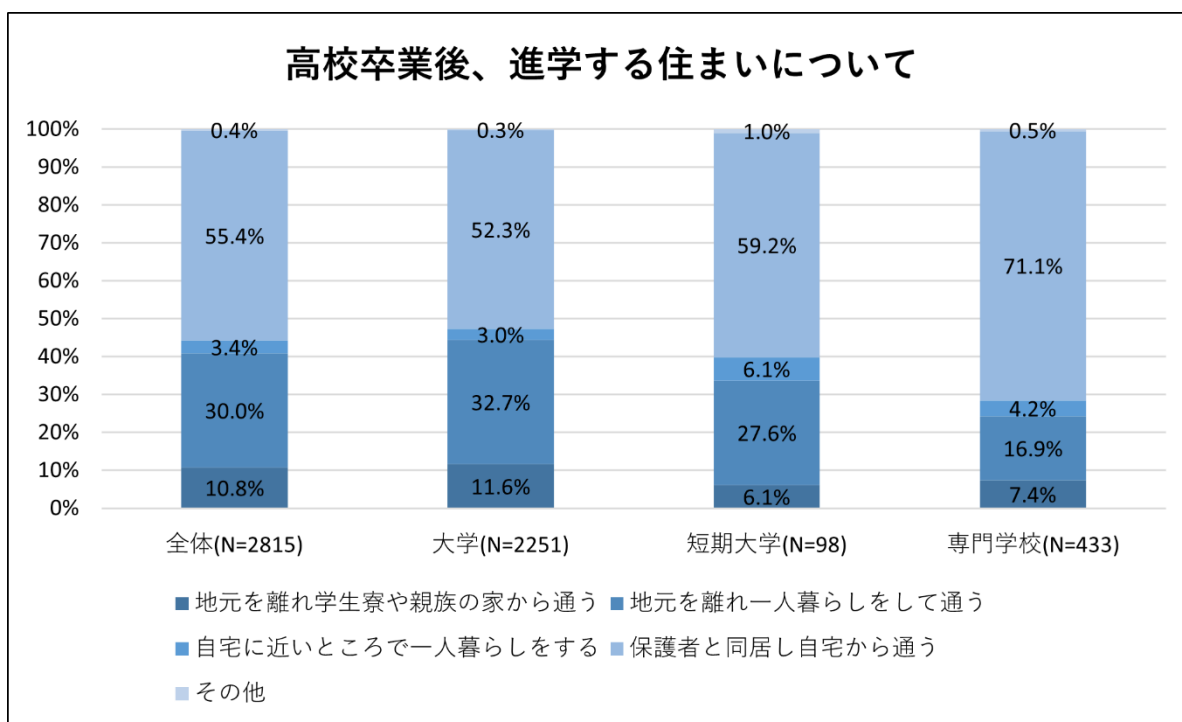
進学する学校へ出願を決めた時期（月別）







今回「高校卒業後の住まい」についても調査した。いずれの進学先区分においても「保護者と同居し自宅から通う」が半数以上で最多回答となった。

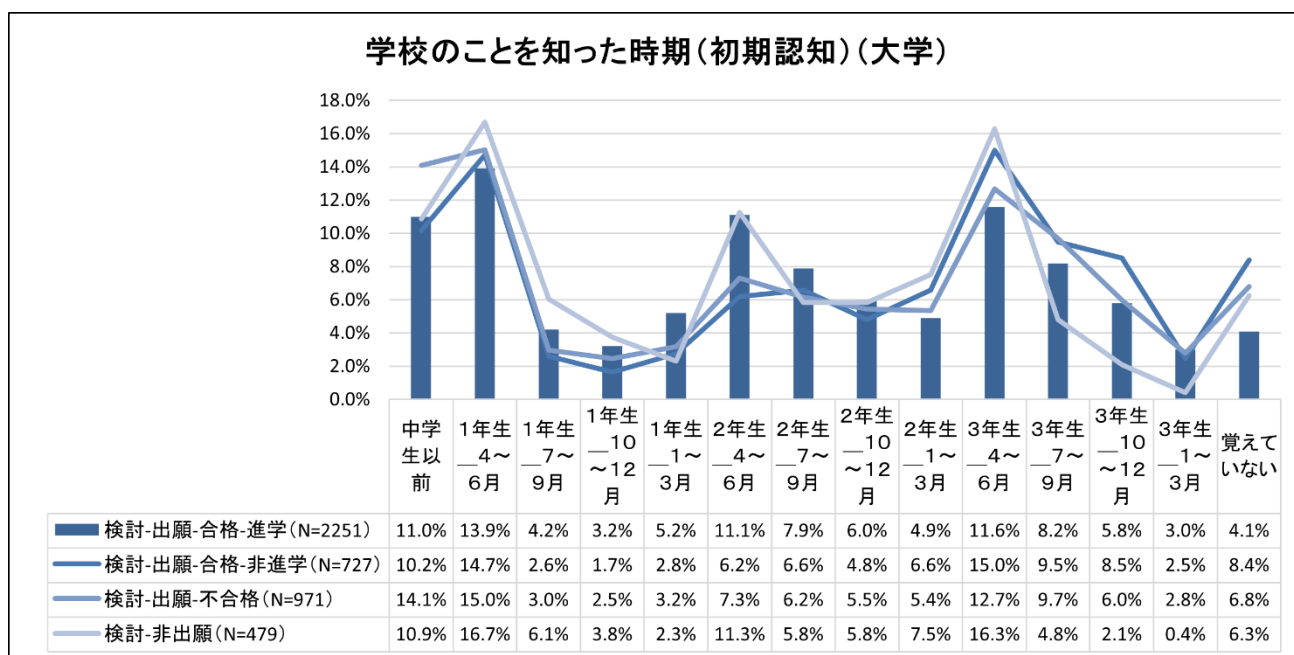


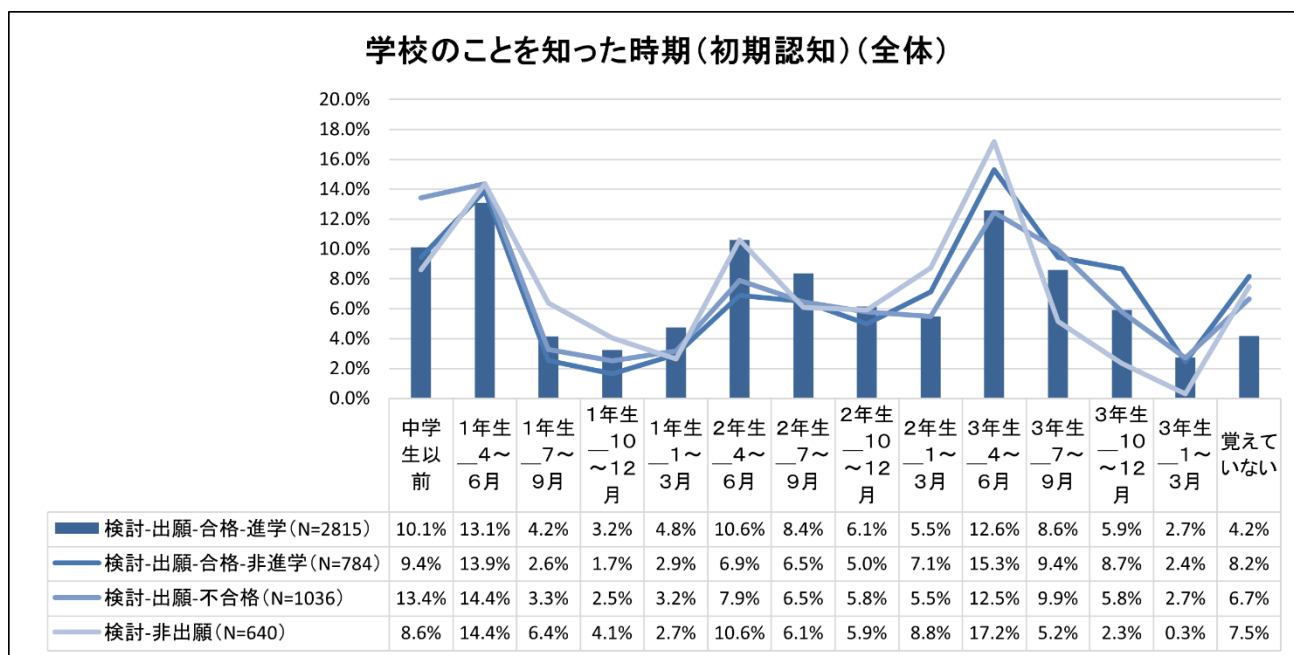
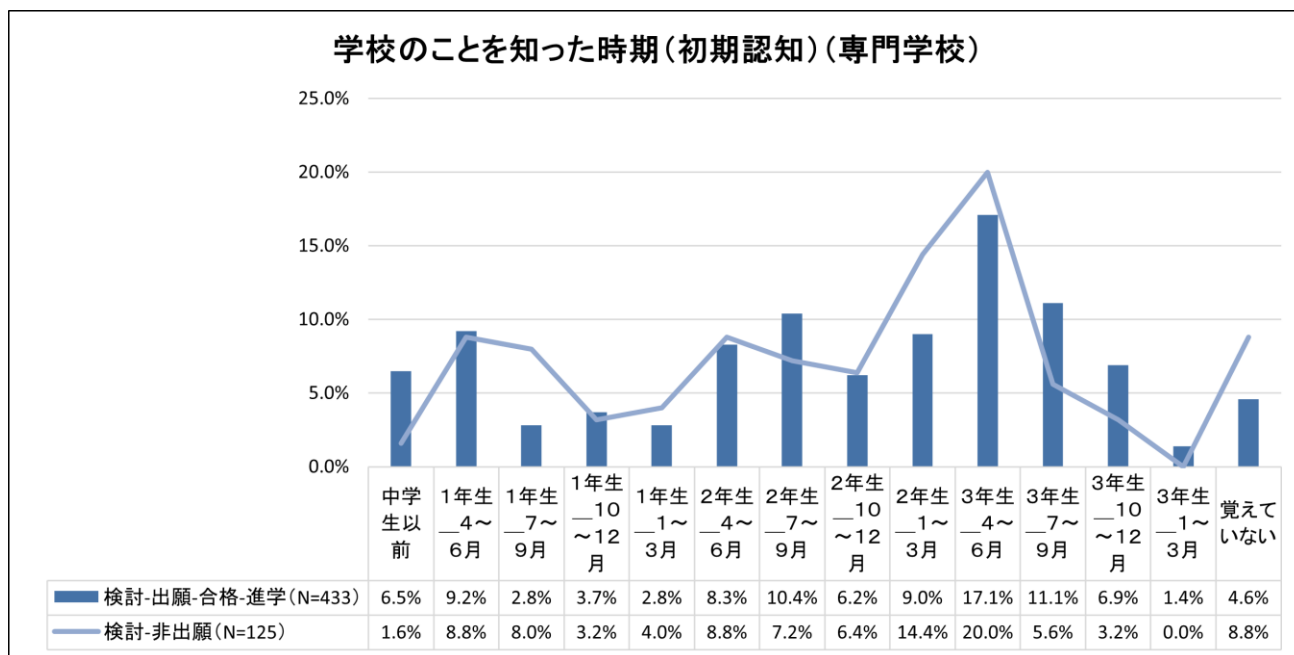
### 3 進学先以外の進学候補学校について

進学先以外の進学候補学校について、その「認知時期・検討時期」を調査した。さらにその結果を、進学候補学校の学校区分ごと（大学・短期大学・専門学校）および出願・合格・進学状況ごと（※）に分けて集計した。

- ※「検討・出願・合格し、進学した学校」、「検討・出願・合格し、進学しなかった学校」、「検討・出願し、合格しなかった学校」、「検討し、出願しなかった学校」の4つに分類。
- ※短期大学など、N数が少ない分類はグラフ作成を割愛。

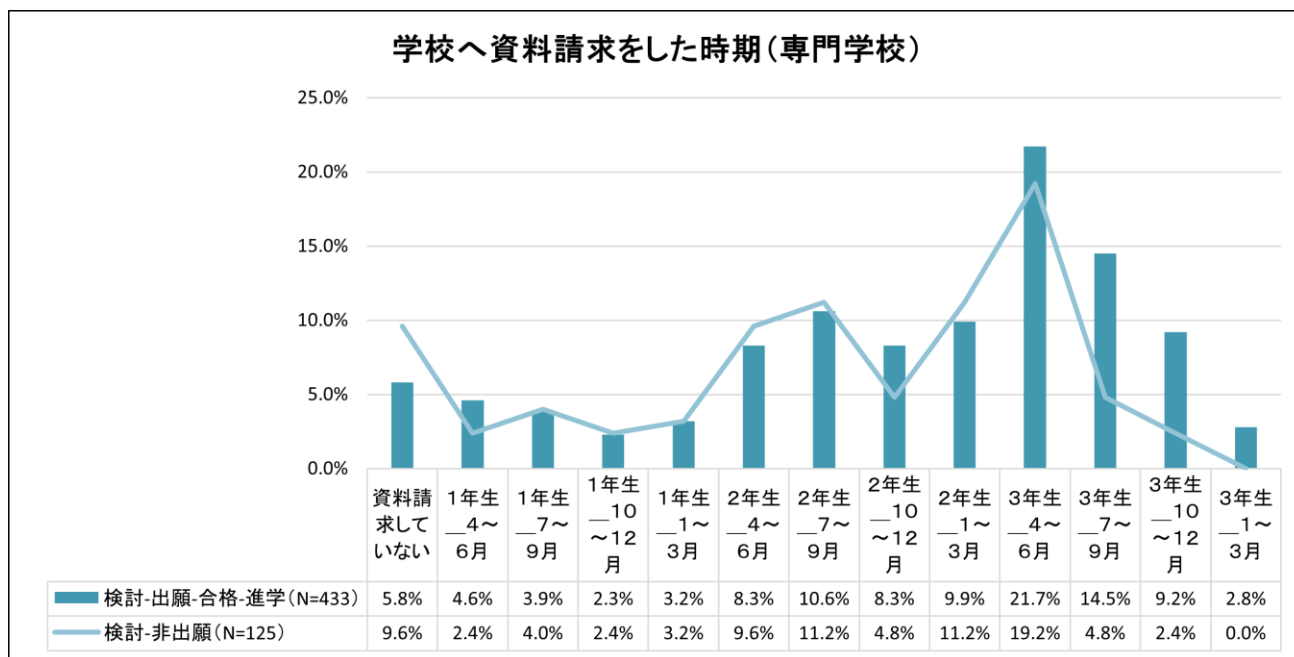
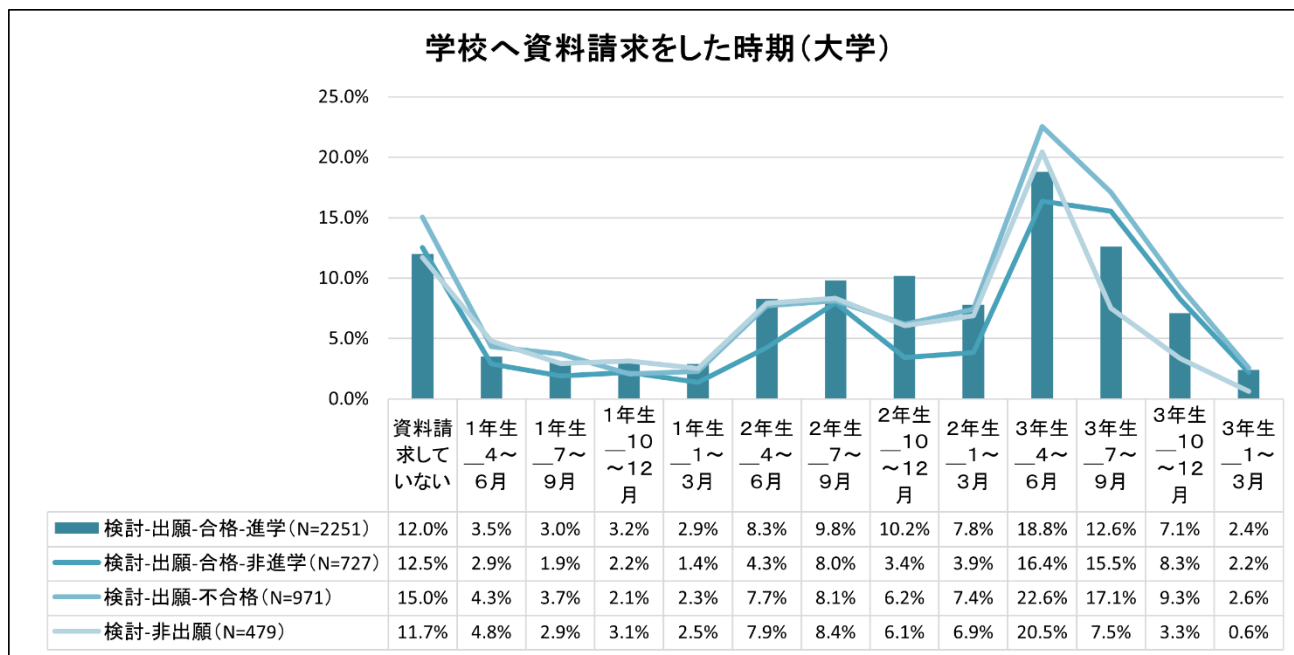
#### ▼学校のことを知った時期（初期認知）

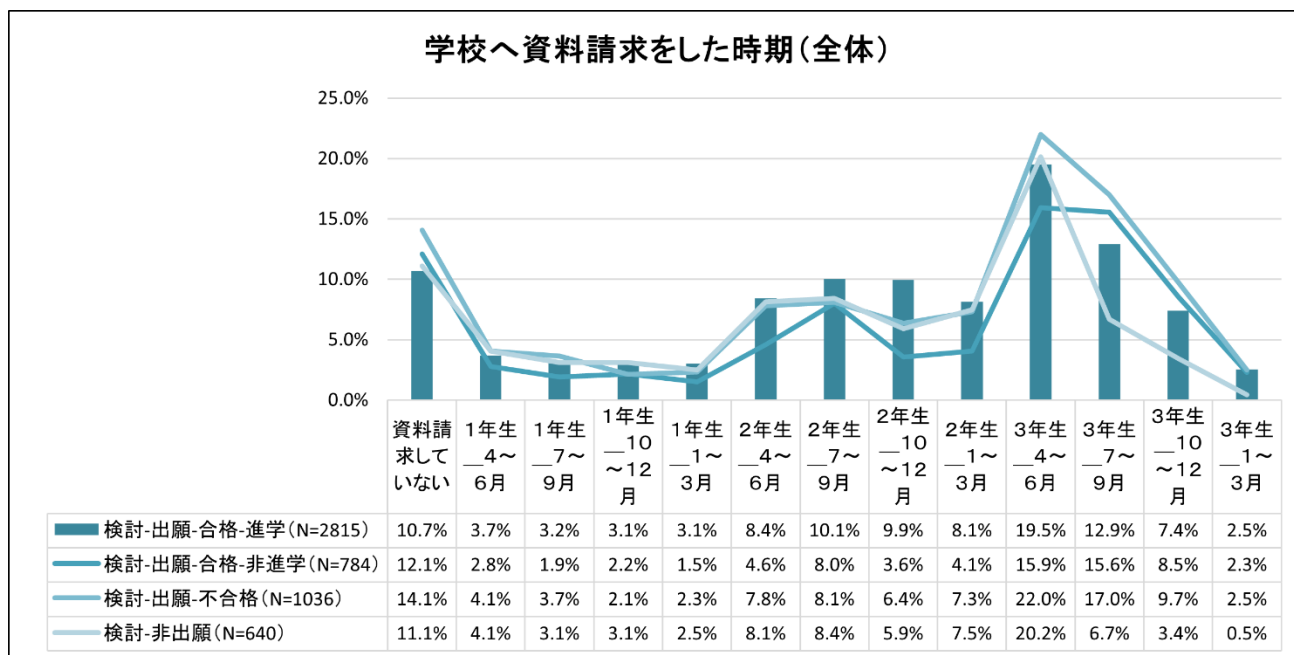




1年生4月～3年生6月までの「資料請求」については、時期によって「進学した学校」とそれ以外の間に大きな差が見られなかった。3年生の春頃までは、「資料請求の早さ」が「出願／非出願」や「進学／非進学」に及ぼす単純な影響は少ないものと考えられる。

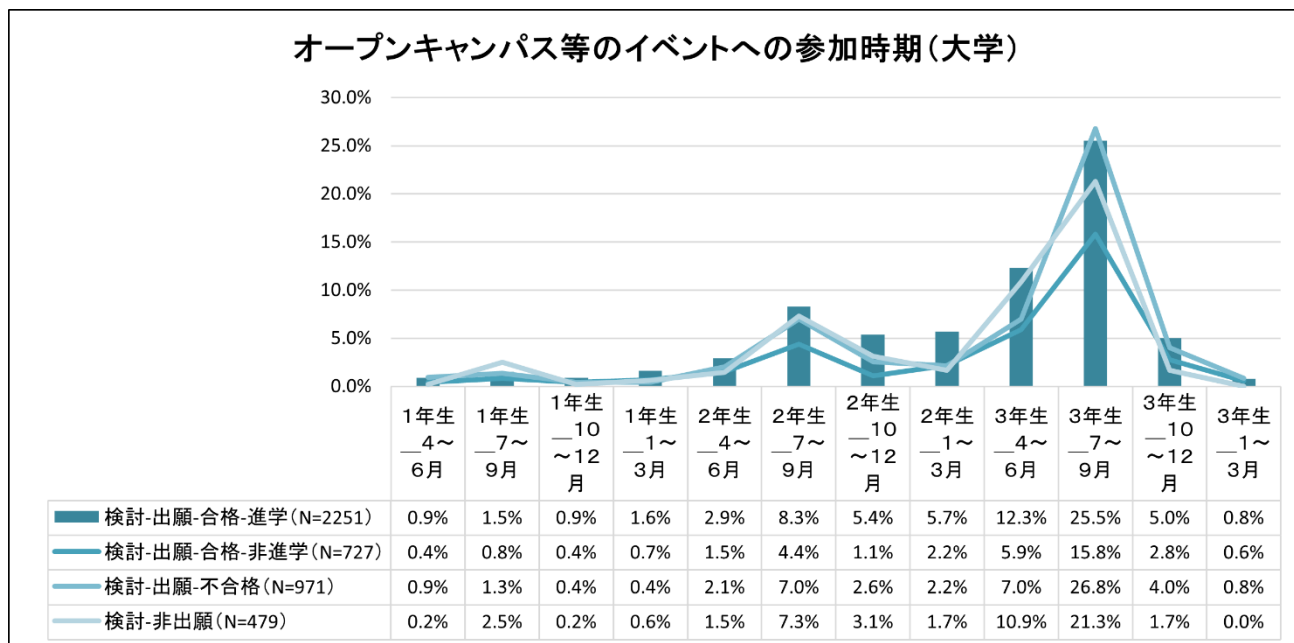
▼学校へ資料請求をした時期



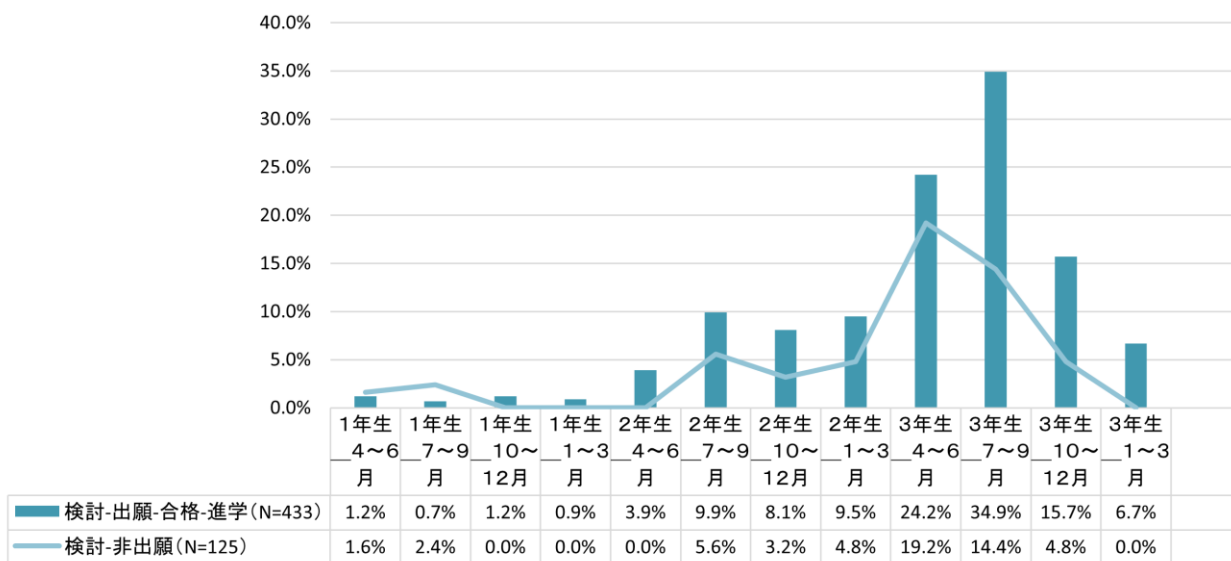


オープンキャンパス等のイベントへの参加時期は、進学先区分を問わず「3年生 7~9月」において「検討・出願・合格し、進学した学校」とそれ以外とで前年同様大きな差が見られた。

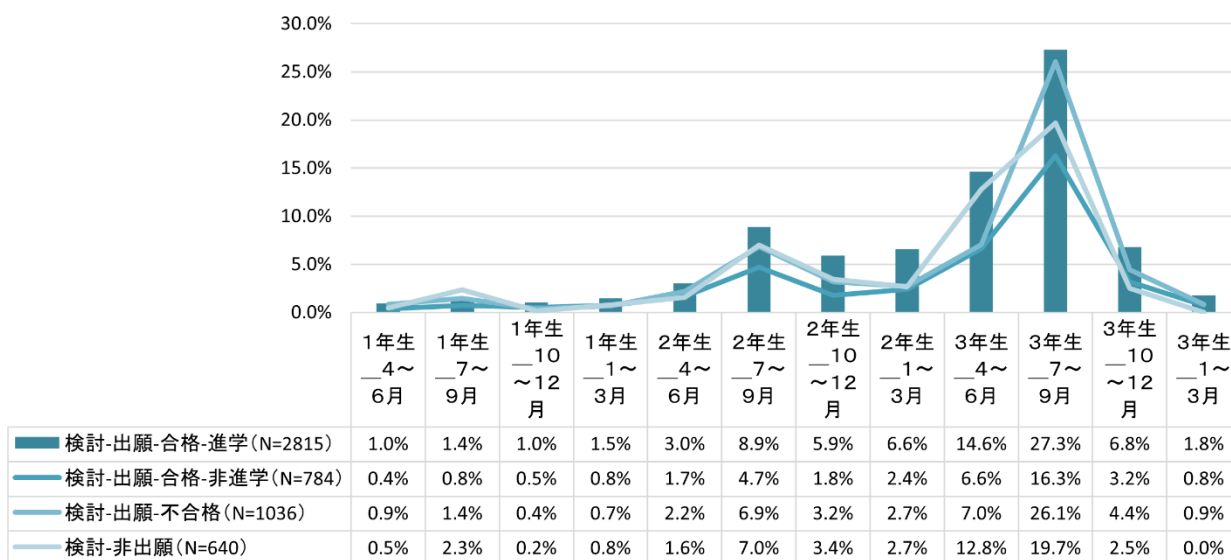
▼オープンキャンパス等のイベントへの参加時期



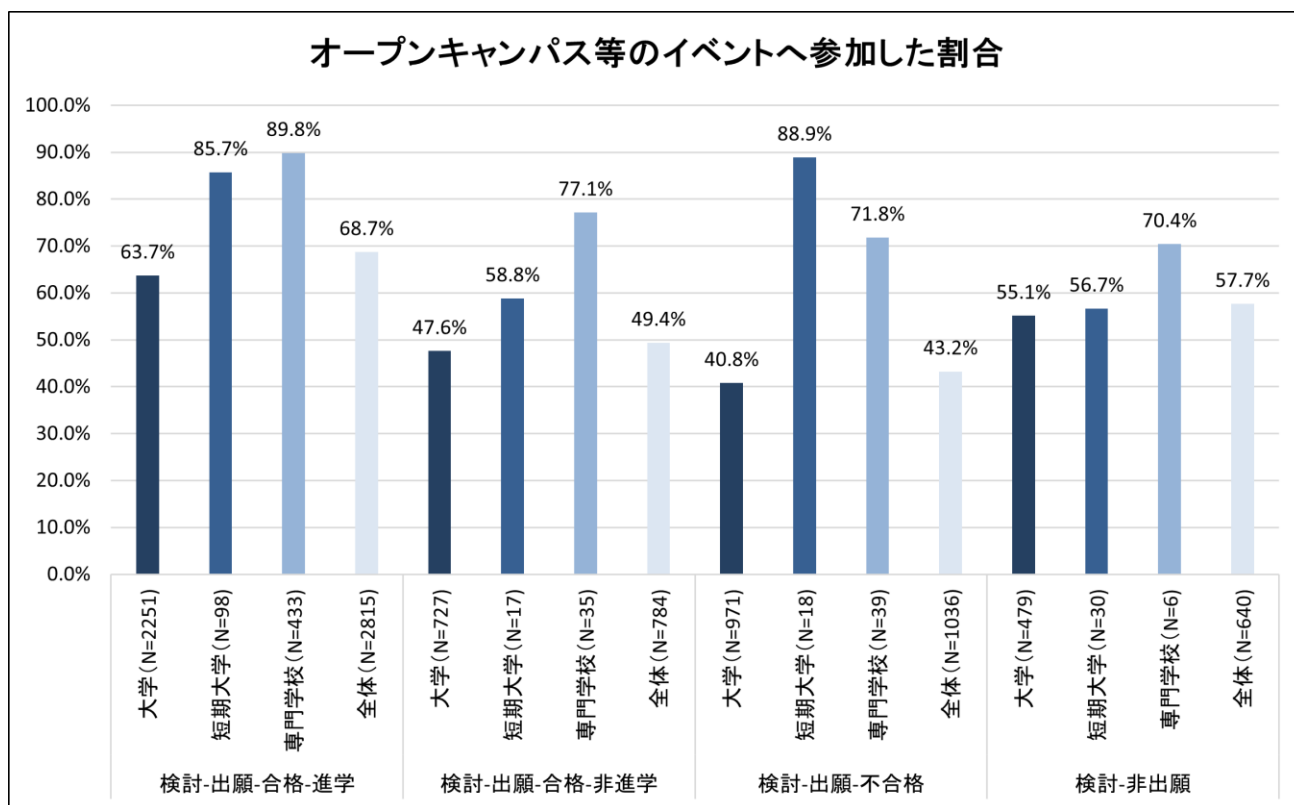
### オープンキャンパス等のイベントへの参加時期（専門学校）



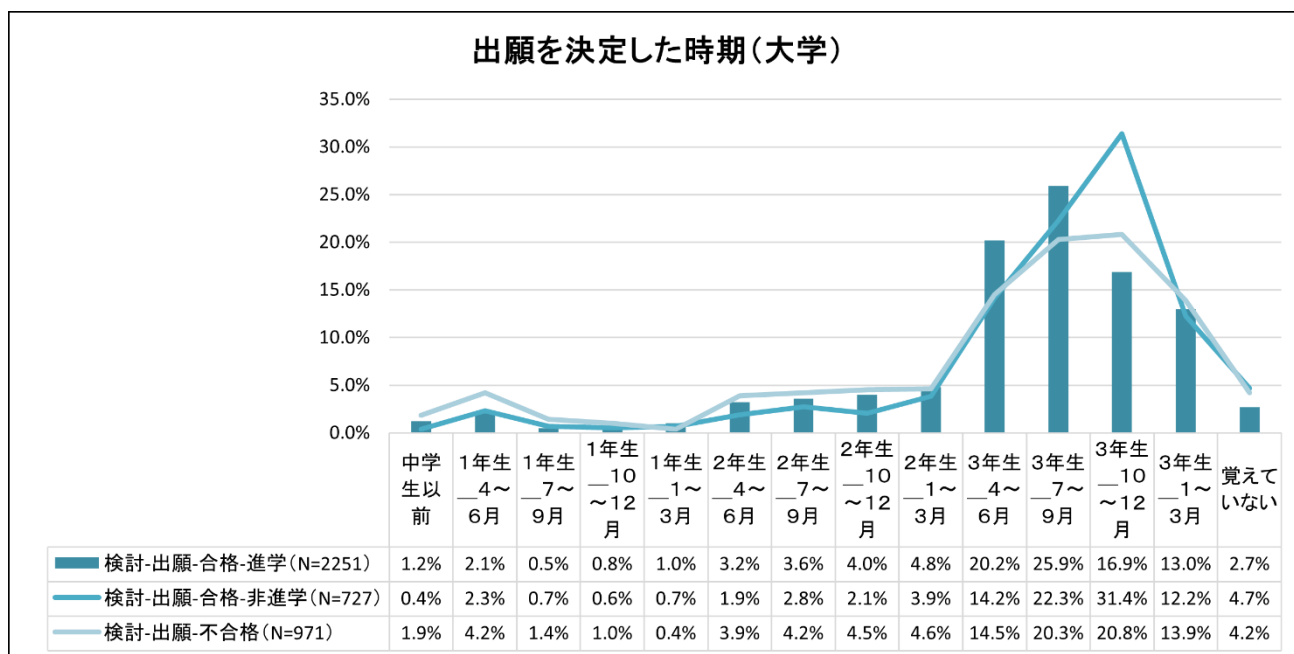
### オープンキャンパス等のイベントへの参加時期（全体）

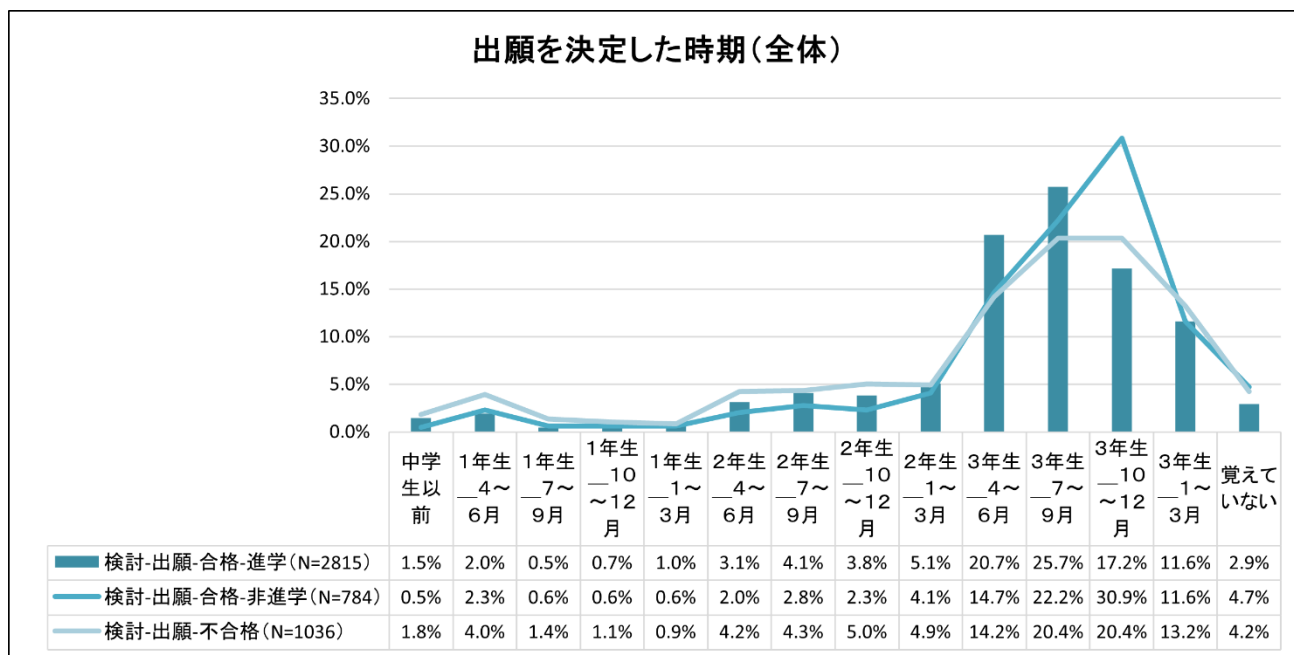


▼オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合



▼出願を決定した時期





合格したが進学しなかった理由については、「志望度の高い別の学校に合格したから（滑り止めだったから）」の回答が7割以上を占めた。（※）

※大学進学者のみ抜粋

▼合格したが入学しなかった理由

